

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2011年11月14日
【四半期会計期間】	第58期第2四半期(自2011年7月1日至2011年9月30日)
【会社名】	株式会社W D I
【英訳名】	W D I Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役 清水 謙
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03(3404)3704(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木五丁目5番1号
【電話番号】	03(3404)3704(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 佐々木 智晴
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第2四半期連結 累計期間	第58期 第2四半期連結 累計期間	第57期
会計期間	自 2010年4月1日 至 2010年9月30日	自 2011年4月1日 至 2011年9月30日	自 2010年4月1日 至 2011年3月31日
売上高(千円)	8,514,378	7,828,457	16,585,314
経常利益(千円)	173,879	173,199	488,093
四半期(当期)純利益(は損失) (千円)	205,196	56,704	126,847
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	233,276	70,098	22,803
純資産額(千円)	994,663	1,282,972	1,250,671
総資産額(千円)	8,994,943	8,622,102	7,485,496
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (は損失)(円)	32.41	8.96	20.03
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	10.7	14.4	16.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	255,285	561,957	620,701
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	166,172	72,486	5,312
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	736,587	925,312	379,150
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円)	1,575,628	2,388,627	1,046,799

回次	第57期 第2四半期連結 会計期間	第58期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2010年7月1日 至 2010年9月30日	自 2011年7月1日 至 2011年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.58	6.48

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第57期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第57期及び第58期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため、第57期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動や個人消費の落ち込みに関しては徐々に持ち直しの動きがみられたものの、急激な円高の進行、欧州経済の減速等による下振れ懸念があり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、従来からの生活防衛意識の高まりに加え、自粛ムードによる消費意欲の減退、放射性物質による食の安全・安心への更なる懸念等により、厳しい状況で推移しております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、2013年3月期までを対象期間とした中期経営計画「WDI Hospitality 40years」を策定いたしました。2012年3月期はその初年度として、前連結会計年度に実施して効果を上げた、既存店舗への改装投資を継続する一方で、過去2年間に亘り事実上凍結していた直営での新規出店を再開しております。

新規出店については、日本国内において、新業態の「ロメスパバルボア」を、日本橋室町、虎ノ門、五反田TOCの計3店舗出店いたしました。また、「ストーンバーグ」をイオンモール泉南に出店いたしました。

フランチャイズ展開におきましては、日本国内において、「カプリチョーザ」を2店舗出店いたしました。海外では、「カプリチョーザ」をマレーシアに1店舗、ベトナム初となる1号店の計2店舗出店いたしました。

業績につきましては、以上の結果により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,828百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は、282百万円（前年同期比20.9%減）、経常利益は、173百万円（前年同期比0.4%減）、四半期純利益は、56百万円（前年同期は四半期純損失205百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本

国内では、売上高は5,930百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は428百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

北米

米国では、売上高は1,219百万円（前年同期比15.9%減）、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は563百万円（前年同期比11.2%減）、営業利益は62百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

アジア

アジアでは、売上高は138百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は20百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、2,388百万円となり、前年同四半期連結累計期間より812百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は561百万円(前年同期は255百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益167百万円及び減価償却費の計上268百万円があった一方で、その他流動資産の増加が125百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は72百万円(前年同期は166百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が80百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は925百万円(前年同期は736百万円の増加)となりました。これは主に長期借入れによる収入が1,950百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出1,088百万円があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,127,680
計	22,127,680

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2011年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2011年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,331,920	6,331,920	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,331,920	6,331,920	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2011年7月1日～ 2011年9月30日	-	6,331,920	-	585,558	-	588,655

(6) 【大株主の状況】

2011年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
清水 洋二	東京都港区	1,652,240	26.09
Soken Corp.	東京都港区三田2-3-34-401	1,512,000	23.87
W D I従業員持株会	東京都港区六本木5-5-1	290,940	4.59
清水 謙	東京都港区	203,800	3.21
清水 宏子	東京都港区	72,300	1.14
サントリーピア&スピリッツ株式会社	東京都港区台場2-3-3	60,000	0.94
清水 壮一郎	東京都港区	46,000	0.72
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2-10-1	40,000	0.63
孫 正義	東京都港区	36,000	0.56
宮内 義彦	東京都品川区	36,000	0.56
計	-	3,949,280	62.37

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2011年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,330,500	63,305	-
単元未満株式	普通株式 1,120	-	-
発行済株式総数	6,331,920	-	-
総株主の議決権	-	63,305	-

【自己株式等】

2011年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社W D I	東京都港区六本木 五丁目5番1号	300	-	300	0.00
計	-	300	-	300	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（2011年7月1日から2011年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（2011年4月1日から2011年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,053,159	2,388,627
売掛金	147,241	186,277
たな卸資産	243,635	238,220
預け金	302,394	383,245
繰延税金資産	214,172	212,636
その他	456,515	313,521
貸倒引当金	42,445	42,012
流動資産合計	2,374,673	3,680,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,371,275	5,386,022
減価償却累計額	3,105,210	3,256,251
建物及び構築物(純額)	2,266,065	2,129,770
工具、器具及び備品	1,471,695	1,493,241
減価償却累計額	1,080,439	1,144,407
工具、器具及び備品(純額)	391,256	348,833
土地	232,941	232,941
建設仮勘定	13,698	18,509
その他	27,715	25,906
減価償却累計額	19,847	11,884
その他(純額)	7,867	14,021
有形固定資産合計	2,911,829	2,744,077
無形固定資産		
その他	247,536	236,944
無形固定資産合計	247,536	236,944
投資その他の資産		
投資有価証券	1,899	1,817
長期貸付金	91,906	90,089
敷金及び保証金	1,396,131	1,388,450
繰延税金資産	325,465	321,859
その他	139,322	161,614
貸倒引当金	3,267	3,267
投資その他の資産合計	1,951,457	1,960,563
固定資産合計	5,110,823	4,941,586
資産合計	7,485,496	8,622,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2011年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	305,782	356,653
1年内返済予定の長期借入金	2 1,933,239	2 2,075,489
未払金	437,895	415,640
短期借入金	-	100,000
未払法人税等	9,591	76,218
賞与引当金	128,267	130,079
販売促進引当金	14,000	16,500
地震災害損失引当金	8,382	2,196
資産除去債務	13,650	-
その他	414,844	513,916
流動負債合計	3,265,652	3,686,693
固定負債		
長期借入金	2 2,572,041	2 3,286,672
退職給付引当金	3,900	4,012
その他	393,230	361,751
固定負債合計	2,969,172	3,652,436
負債合計	6,234,825	7,339,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,558	585,558
資本剰余金	588,655	588,655
利益剰余金	339,394	358,109
自己株式	196	196
株主資本合計	1,513,412	1,532,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,796	3,550
為替換算調整勘定	289,476	283,909
その他の包括利益累計額合計	293,273	287,459
少数株主持分	30,532	38,304
純資産合計	1,250,671	1,282,972
負債純資産合計	7,485,496	8,622,102

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)
売上高	8,514,378	7,828,457
売上原価	2,110,801	1,945,803
売上総利益	6,403,577	5,882,653
販売費及び一般管理費	1 6,046,296	1 5,600,035
営業利益	357,280	282,618
営業外収益		
受取利息	6,412	3,727
還付加算金	448	5,886
受取補償金	14,362	5,487
地震災害損失引当金戻入額	-	6,142
その他	13,904	6,003
営業外収益合計	35,127	27,246
営業外費用		
支払利息	65,259	51,262
為替差損	123,290	71,660
その他	29,978	13,741
営業外費用合計	218,529	136,665
経常利益	173,879	173,199
特別利益		
固定資産売却益	524	645
貸倒引当金戻入額	2	-
店舗閉鎖損失戻入額	5,300	12,850
立退料収入	23,000	-
特別利益合計	28,826	13,495
特別損失		
固定資産売却損	913	2,255
固定資産除却損	2,013	222
関係会社株式売却損	-	1,935
店舗閉鎖損失	17,009	-
減損損失	26,478	-
事業整理損失引当金繰入額	2 289,357	-
為替換算調整勘定取崩額	-	3 15,085
その他	1,000	-
特別損失合計	336,772	19,499
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	134,066	167,195
法人税等	94,755	105,148
法人税等還付税額	24,515	-
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	204,306	62,047
少数株主利益	889	5,343
四半期純利益又は四半期純損失()	205,196	56,704

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	204,306	62,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金(税引前)	560	416
持分変動差額	-	2,271
為替換算調整勘定(税引前)	29,302	5,532
その他の包括利益に係る税効果額	228	170
その他の包括利益合計	28,969	8,050
四半期包括利益	233,276	70,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,785	62,517
少数株主に係る四半期包括利益	490	7,580

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	134,066	167,195
減価償却費	315,403	268,470
賞与引当金の増減額(は減少)	1,048	1,812
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,939	3
受取利息	6,412	3,727
支払利息	65,259	51,262
為替差損益(は益)	122,024	71,968
出資金運用損益(は益)	2,676	239
有形固定資産売却損益(は益)	389	1,610
店舗閉鎖損失	17,009	-
関係会社株式売却損益(は益)	-	1,935
事業整理損失引当金繰入額	289,357	-
固定資産除却損	2,013	222
減損損失	26,478	-
その他の特別損益(は益)	27,300	2,235
売上債権の増減額(は増加)	22,720	30,559
たな卸資産の増減額(は増加)	12,478	5,057
その他の流動資産の増減額(は増加)	15,471	125,052
仕入債務の増減額(は減少)	57,130	51,815
その他の流動負債の増減額(は減少)	85,563	70,017
その他の固定負債の増減額(は減少)	44,860	28,380
その他	4,276	50,752
小計	494,217	455,373
利息の受取額	3,611	1,135
利息の支払額	70,611	56,278
法人税等の支払額	203,726	49,755
法人税等の還付額	31,794	211,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	255,285	561,957

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	75,815	80,371
有形固定資産の売却による収入	2,560	9,420
無形固定資産の取得による支出	18,382	11,549
無形固定資産の売却による収入	2,279	-
関係会社株式の売却による収入	-	3,174
長期貸付けによる支出	6,500	1,000
長期貸付金の回収による収入	6,427	1,976
定期預金の預入による支出	90,279	-
定期預金の払戻による収入	14,403	6,376
敷金及び保証金の差入による支出	4,748	23,433
敷金及び保証金の回収による収入	8,459	30,900
その他	4,578	7,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	166,172	72,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	340,000	400,000
短期借入金の返済による支出	203,400	300,000
長期借入れによる収入	1,800,000	1,950,000
長期借入金の返済による支出	1,163,200	1,088,244
配当金の支払額	36,812	36,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	736,587	925,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,996	72,954
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	736,703	1,341,828
現金及び現金同等物の期首残高	838,925	1,046,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,575,628	2,388,627

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2011年 4 月 1 日 至 2011年 9 月 30 日)
税金費用の計算	当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2011年 4 月 1 日 至 2011年 9 月 30 日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月 4 日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月 4 日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (2011年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2011年 9 月 30 日)												
<p>1 たな卸資産 たな卸資産の内訳は次の通りです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品</td> <td style="text-align: right;">94,492千円</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">149,142千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">243,635千円</td> </tr> </table> <p>2 財務制限条項 当社グループが締結しているシンジケートローン契約及び一部の金銭消費貸借契約(当連結会計年度末借入金残高合計2,781,112千円)には、当連結会計年度末現在、以下の財務制限条項が付されております。</p> <p>平成21年 3 月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を 6 億円以上に維持し、平成22年 3 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、() 6 億円、若しくは、() 直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。</p> <p>平成22年 3 月期の第 2 四半期会計期間末日(平成21年 9 月末日)及びそれ以降の各事業年度末日及び各第 2 四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。</p>	商品	94,492千円	原材料及び貯蔵品	149,142千円	計	243,635千円	<p>1 たな卸資産 たな卸資産の内訳は次の通りです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">商品</td> <td style="text-align: right;">91,939千円</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td style="text-align: right;">146,280千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">238,220千円</td> </tr> </table> <p>2 財務制限条項 当社グループが締結しているシンジケートローン契約及び一部の金銭消費貸借契約(当第 2 四半期連結会計期間末借入金残高合計1,902,325千円)には、当連結会計年度末現在、以下の財務制限条項が付されております。</p> <p>平成21年 3 月期末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を 6 億円以上に維持し、平成22年 3 月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の金額を、() 6 億円、若しくは、() 直近の事業年度末日における報告書等に記載される連結貸借対照表の純資産の部の合計金額の75%、のいずれか大きい金額以上に維持すること。</p> <p>平成22年 3 月期の第 2 四半期会計期間末日(平成21年 9 月末日)及びそれ以降の各事業年度末日及び各第 2 四半期会計期間の末日における報告書等に記載される連結損益計算書における営業損益及び経常損益をそれぞれ損失としないこと。</p>	商品	91,939千円	原材料及び貯蔵品	146,280千円	計	238,220千円
商品	94,492千円												
原材料及び貯蔵品	149,142千円												
計	243,635千円												
商品	91,939千円												
原材料及び貯蔵品	146,280千円												
計	238,220千円												

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)																
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>給与手当及び雑給</td> <td>2,381,301千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>891,489千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>292,588千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>199,408千円</td> </tr> </table> <p>2 事業整理損失引当金繰入額 当第2四半期連結累計期間において、当社グループは事業整理損失引当金繰入額289,357千円を計上いたしました。 これは、連結子会社であるWDI International, Inc.が2010年8月3日(現地時間2010年8月2日)付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW Steak California Corp.及びPeter Zwiener氏に譲渡したことに伴い、将来負担することが見込まれる損失見積額のほか、当該事業に係る貸付金等の回収不能見込額等が含まれております。</p>	給与手当及び雑給	2,381,301千円	賃借料	891,489千円	消耗品費	292,588千円	賞与引当金繰入額	199,408千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>給与手当及び雑給</td> <td>2,221,649千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>833,524千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>297,091千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>130,079千円</td> </tr> </table> <p>3 為替換算調整勘定取崩額 これは、海外連結子会社の有償減資に伴い、同社の為替換算調整勘定を取り崩したことにより発生した損失であります。</p>	給与手当及び雑給	2,221,649千円	賃借料	833,524千円	消耗品費	297,091千円	賞与引当金繰入額	130,079千円
給与手当及び雑給	2,381,301千円																
賃借料	891,489千円																
消耗品費	292,588千円																
賞与引当金繰入額	199,408千円																
給与手当及び雑給	2,221,649千円																
賃借料	833,524千円																
消耗品費	297,091千円																
賞与引当金繰入額	130,079千円																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)
現金及び預金勘定	1,885,606	2,388,627
預入期間が3か月を超える定期預金	309,977	-
現金及び現金同等物	1,575,628	2,388,627

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2010年6月29日 定時株主総会	普通株式	37,990	利益剰余金	6	2010年3月31日	2010年6月30日

当第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2011年6月28日 定時株主総会	普通株式	37,989	利益剰余金	6	2011年3月31日	2011年6月29日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	ミクロネシア	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,322,481	1,443,158	634,849	113,890	8,514,378	-	8,514,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,162	7,500	-	-	25,662	-	25,662
計	6,340,643	1,450,658	634,849	113,890	8,540,040	-	8,540,040
セグメント利益 (は損失)	490,471	40,693	77,320	29,255	556,354	-	556,354

(注)「その他」には報告セグメントに含まれないヨーロッパの現地法人であるWDI Europe H Ltd.が含まれております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	556,354
全社費用(注)	199,157
その他の調整額	83
四半期連結損益計算書の営業利益	357,280

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、営業活動等から生じるキャッシュ・フローが継続してマイナスであり当初予定していた収益を将来において見込めない店舗及び閉鎖に伴う資産の除却が見込まれる店舗が存在したため、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において26,478千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自2011年4月1日至2011年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	ミクロネシア	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,914,416	1,212,104	563,554	138,382	7,828,457	-	7,828,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,553	7,500	-	-	24,053	-	24,053
計	5,930,969	1,219,604	563,554	138,382	7,852,511	-	7,852,511
セグメント利益 (は損失)	428,823	8,901	62,062	20,301	502,286	-	502,286

(注)「その他」には報告セグメントに含まれないヨーロッパの現地法人であるWDI Europe H Ltd.が含まれております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	502,286
全社費用(注)	220,468
その他の調整額	800
四半期連結損益計算書の営業利益	282,618

(注)全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(は損失)	32.41円	8.96円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(は損失)(千円)	205,196	56,704
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(は損失) (千円)	205,196	56,704
普通株式の期中平均株式数(株)	6,331,750	6,331,576

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、当第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月8日

株式会社W D I
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	和田 芳幸 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	石原 鉄也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社W D Iの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社W D I及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。